



芝山小だより



9月号

清瀬市立芝山小学校
校長 榎並 みな子

<http://www.kivose.ed.in/>

偉大なる母

校長 榎並 みな子

本日より2学期が始まりました。寂しかった学校に子供たちの元気な声が響き渡り、活気が戻ってきました。学校本来の姿である子供たちが教室で学ぶ姿、元気に遊ぶ姿を見ることができるのは、大変嬉しいことです。2学期は、運動会、音楽会と大きな行事を予定しています。普段の学校生活はもちろんですが、行事を通して大きく成長する子供たちに、教職員一同全力で関わっていきます。ご理解とご協力をよろしくお願いします。



夏休み最後の日の校庭

さて、私事ですが、例年ならば年に一度、年末年始に田舎に帰省するところ、今年は夏季休業を利用して帰りました。何年かぶりの新幹線での帰省でしたが、あまりの速さと快適さに驚きました。私の田舎は、新幹線の駅はありますが、駅からは車を使わないと家にたどり着くことができないようなところです。今回の帰省の目的は、この夏に病気が見つかった母の介護でした。私の母は、元気におしゃべり、大きな声で笑う、仕事大好きな80歳。普段はそんな母ですが、かなりしんどい様子が見えてよく分かりました。それでも、病気が見つかったときの母は即決、「先生、まだまだ生きたいから、すぐに治療してください。」と言ったそうです。私が田舎で過ごしたのは1週間ですが、その間、「これだけはやらないと。」と言っていつも通りに起床し、父と食べる朝食の支度をし、家族の弁当を作っていました。また、体調が少しでもいいと「仕事に行こうかな…」などと言い出すので、「それは勘弁してください。」と。

人生100年と言われる今、少し前まで80年と言われていましたが、その80を超えてもまだまだ「生きたい!」と病氣と闘う母の強さ、家族のことを第一に考え振る舞う姿、子育てに仕事に奮闘してきた母の偉大さを改めて思い知らされるとともに、感謝の思いでいっぱいでした。私は3人姉妹ですが、この休みに3人で顔を合わせる機会があり、3人が口を揃えて言った言葉は「うちのお母さんって、本当にすごいよね。」でした。

年齢とともに親子のかかわり方は、変わっていくものですが、互いがかけがえのない存在であることに変わりはなく、近くにいても離れたところで過ごしていても同じだと改めて実感しました。

子育て真ただ中の保護者の皆様は、やはり偉大な存在であり、子供にとっていなくてはならない存在です。そして保護者の皆様にとって子供たちは、大切な、大切な存在であることは言うまでもないことと思います。子供たちと関わる全ての大人とその子供たちが、今年度の後半も心身ともに健やかに日々過ごすことができるよう願っています。

芝フラット通信

学校運営協議会「芝フラット」 会長 大津 里美

〇〇の秋 皆さんは何を楽しみますか?

過ごしやすい気候で楽しみにしているイベントも多いのではありませんか? ドキドキ、ワクワクですね。今までやった事がない新しい事にもチャレンジしてみませんか?

さて、昨年好評でした「芝小あきまつり」は10月17日(土)に開催しますので是非ご参加ください。